



永井千年 議員

指定管理者制度の拡大を見直せ

質問

今後の指定管理で公募を広げていくのか。

行政経営推進室長

非公募は、施設利用者との継続的な信頼関係が求められる施設、例えば作業所などが上げられる。

上下水道部長

農業集落排水の施設は、今の状況では指定管理になじま

ないということ、24年4月

1日を目標に市に戻し、指定管理を外したい。

題と考えている。

質問

市は放課後子ども教室も順次拡大していく方針を示している。23年度は佐屋西小1校。今後の全小学校への拡大は具体化しているのか。

教育部長

準備ができたところから実施していくというのが基本的な考え。放課後子どもプランという大きな枠の中で、学童保育の状況も見ながら進めていきたい。

学童保育の年齢拡大に一步を

質問

小学校6年生までの年齢拡大は本当に強い願い。3分の2の市で4年生以上を受け入れている。なぜ愛西市は4年生以上はやらないのか。

福祉部長

2013年度からの国の新たな子育て支援体制で4年生以上の問題も明記される。市の今後の方針もそれに添った

形ですすめたい。

質問

市で施設整備が出来なければせめて、4年生以上にも補助金を出し、民間の施設が運営しやすいようにしてほしい。

福祉部長

補助事業も1年生から3年生にしている。今後の検討課

質問

総務省は、指定管理者制度は価格競争による入札とは異なる」と指摘し、住民の安全確保と労働条件への配慮を求めている。指定管理者の業務内容を厳しくチェックし、制度拡大の方針を全面的に見直せ。

質問

佐屋の老人福祉センターで安心・安全と言えない事態について質問があったが。問題があれば強い態度で指導してほしい。指定管理の職場でワーキングプアは根絶していただく必要があるが。

福祉部長

事故、故障、苦情は、随時報告があるので、その都度対応している。個々の給料、通勤手当、時間外手当、期末手当は幾らだと報告いただき、現地確認もしている。

企画部長

現状は、運用方針と照らし合わせて特に問題はなかったと判断している。今後も出来るものは指定管理者制度を導入し、現状のものは継続を図っていく。

